



吉田地区 住民自治協議会だより

39号

キャッチフレーズ 「人の和と 地域の輪もて 我が吉田」

発行責任者 塚田 和雄 編集 吉田地区住民自治協議会だより編集委員会
 事務局住所 長野市吉田3-22-41 ノルテながの3階 TEL 026-263-6224 FAX 026-266-0371



台風19号災害により被害にあわれた 皆さまに、心よりお見舞い申し上げます

臨時区長部会開催

吉田地区住民自治協議会は、臨時区長部会を開催し、台風19号による災害支援の方策検討会議を開催しました。会議の始めに黙祷を行い次の議事を行いました。

1. 台風19号による吉田地区的状況の把握について

屋根、アンテナ、ごみ置き場、壇な

どの破損7件「吉田大イチョウ」、「吉田神社」での枝の落下等

2. 吉田地区内に開設された広域避難所の支援について

長野運動公園の避難所運営者から依頼のあつた物資を提供することにしていたので、10月16日（水）に避難所運営者から依頼が有りました手ぬぐい他を提供しました。

3. 吉田地区管外の災害復旧に係る市及び被災地域支援の対応について

① 市行政等から当住民自治協議会に支援の要請の取組

長野市住民自治連絡協議会が義援金募集事業を行う事にしたので吉田地区住民自治協議会から、長野市災害義援金、67,450円を寄付しました。

被害による排水量削減の協力を
お願いしました。

4. 義援金について

長野市住民自治連絡協議会が義援金募集事業を行う事にしたので吉田地区住民自治協議会から、長野市災害義援金、67,450円を寄付しました。

■ 吉田地区のみなさまへ ■

今回の台風災害では吉田地区は、大きな被害が無かつたためこの対応でしたが、吉田地区に避難指示が出た場合、各区で設立されている自主防災会と、民生委員さんが協力し高齢者の避難準備をするようになっています。さらに避難勧告が出た場合は、吉田地区自主防災会連絡協議会員を

招集し災害発生時の被害軽減を図ります。吉田地区住民自治連絡協議会員を登録して頂きました。また、避難する時は、近所で声を掛け合い早めに避難することが被害に合う確率を低くすることになりますので皆様のご協力をお願いします。

② 被災地の支援について
吉田地区住民の皆様に市の災害ボランティアに出来るだけ参加頂けるよう吉田地区住民自治協議会で回覧を作り、皆様に市災害ボランティアに登録して頂きました。また、避難する時は、近所で声を掛け合い早めに避難することが被害に合う確率を低くすることになりますので皆様のご協力をお願いします。

被災地のボランティア参加して頂くよう依頼する他、千曲川排水処理場クリーンピア千曲の浸水

10月12日台風19号により、市内各地で大規模な完水や土砂災害が発生し、家屋の流失や浸水、道路や河川の崩壊、農作物の被害など、広範囲にわたって甚大な被害が出ました。

改めて、被災に遭われた皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

また、被災地の復旧や避難所の運営に当たり、住民自治協議会、ボランティア、企業などさまざまな方面から大変温かいご支援やご協力をいただき感謝申し上げます。

本市は、被災された皆さまが一刻も早く元の穏やかな生活を取り戻すことができるよう、国や県および関係機関と協力して復興に向けて全力で取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

長野市吉田支所

支所長 長若 尚寿



「長野市災害義援金」を受け付けています。ご協力をお願いします

受付期間 令和2年3月31日(火)まで

受付方法 八十二銀行、長野信用金庫、ながの農業協同組合、ゆうちょ銀行、長野県信用組合の長野市義援金受付口座へお振込みください。

大いちょうパトロール隊 表彰

また、吉田小学校では、全児童と先生方により大いちょうパトロール隊の出発式と感謝の会が毎年開催されており、各町のパトロール隊の皆様と児童とのふれ合いを深めております。



この度の受賞にあたり、各町大いちょうパトロール隊の皆様の日頃のご尽力に心より感謝を申し上げ、吉田地区住民自治協議会といたしましては、これからも各町の大いちょうパトロール隊皆様方と共に児童の見守り活動の推進に向け取り組んでまいりたいと存じますので、引き続き皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



吉田地区の大いちょうパトロール隊は地域児童会（現吉田地区防犯協会、吉田小学校、吉田小学校PTA）が協議し「地域の子どもは地域で守る」をモットーに、各町において下校児童を見守るパトロールを実施することを決定し、各町の区役員、育成会、防犯協会等が中心となつたパトロール隊を立ち上げて同年4月から実施しています。

パトロール隊の名称は、吉田小学校の児童により「大いちょうパトロール隊」と命名されこの名称を入れた黄色いタスキやジャンパーでパトロールをしています。

この度の受賞にあたり、各町大いちょうパトロール隊の皆様の日頃のご尽力に心より感謝を申し上げ、吉田地区住民自治協議会といたしましては、これからも各町の大いちょうパトロール隊皆様方と共に児童の見守り活動の推進に向け取り組んでまいりたいと存じますので、引き続き皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

吉田地区住民自治協議会

会長 塚田 和雄

大いちょうパトロール隊は地域児童の「安全で安心なまちづくり」活動に対し、平成二十三年五月長野県警察本部長と（社）長

4月、1年生と下校した時のことです。途中大いちょうパトロール隊の方が待つていてくださいり、車が通る狭い踏切を安全に渡してくださいました。1年生だけでは、安全確保が難しい場所です。その後もずっとついていてくださいり、その先には次の地区の方が待つていてくださいり、バトンタッチしながら、子ども



の安全を守つていただいていることがわかりました。「この子は、あの家なんだけど、お母さんが帰つてしまつて戻つてきてしまつて、家に入つて見守るようにしてます。今日はお母さんの車があるから大丈夫。」やさしい眼差しで話してくださいました。地区



の子どもたちのことをよく知つていらっしゃり、安心してお任せできます。今年度は、当初に不審者による事件や大きな交

4月、1年生と下校した時のことです。途中大いちょうパトロール隊の方が待つていてくださいり、車が通る狭い踏切を安全に渡してくださいました。1年生だけでは、安全確保が難しい場所です。その後もずっとついていてくださいり、その先には次の地区の方が待つていてくださいり、バトンタッチしながら、子ども

の安全を守つていただいていることがわかりました。「この子は、あの家なんだけど、お母さんが帰つてしまつて戻つてきてしまつて、家に入つて見守るようにしてます。今日はお母さんの車があるから大丈夫。」やさしい眼差しで話してくださいました。地区

の子どもたちのことをよく知つていらっしゃり、安心してお任せできます。今年度は、当初に不審者による事件や大きな交

通事故が相次ぎましたが、吉田地区は大いちょうパトロール隊の方がいらっしゃるので、とても心強いです。日々子どもたちの命を守つてくださつていてることに心より感謝申し上げます。

長野市立吉田小学校校長
山下 雅史

大いちょうパトロール隊の皆様へ

地域の多くの皆様のご協力をいただき、長年にわたつて続けてきました「大いちょうパトロール」活動が認められ、去る9月26日、住自協の塙田会長が出席し「全国防犯協会連合会」から表彰されました。平成18年の「警察庁」表彰に続き2度目の受賞です。

以前、下校時での児童がかわる事件事故等が全国で多発した時期がありました。

そこで吉田地区でも関係団体や学校が相談し、下校時の小学生の安全を見守ろうと発足したのが「大いちょうパトロール隊」です。

10年ひと昔、発足時とは協力いただく顔ぶれも大分変わっては居りますが、皆様の協力をいただき子どもたちの見守り活動が引き継がれてきた結果の表彰です。

子どもたちも親しまれ、挨拶もしつかりできるようになりました。これからも地域の宝である子どもたちが健やかに成長しますよう、「大

いちょうパトロール」活動にご理解とご協力ををお願い申し上げます。

吉田地区住民自治協議会
相談役 島田 光夫

下校の時刻になると東町の立ち番ポイントには児童の列が見えだす。友達と楽しく話しながら帰る子供たちの笑顔は地域の宝物です。

立つて見送つていると子供たちから元気な挨拶をしてくれます。私自身も元気をもらいます。皆大切な子供たちです。

事件、事故に巻き込まれず無事に家まで帰れるように、黄色のタスキを掛け車への安全運転を呼び掛ける大切なパトロールだと思います。

子供たちはこのように地域の人たちに見守つてもうつてていると言う事を心の中にとどめて大きく成長して頂きたいと思います。

吉田東町 中澤 崇

うれしかったです。こんな日にもかかわらず、私たちを見守つてくださいる人がいるんだなあと私は感激しました。私もいざれば、この方たちの

ような大人になりたいです。
6年2組 木藤 由奈



敬老会

～今年も各区で賑やかに開催されました～



中越区 9月14日(土)

敬老会対象者 351名中、55名の皆さんをお迎えして来賓のお祝いの言葉、また和楽会による金婚の記念品贈呈のあと長寿を祝う獅子舞、コーラスなど次々に披露され懇親会も和やかに、楽しい祝賀会を過ごしました。



鍋屋区 9月16日(祝日)

公民館にて敬老を祝う会が開かれ、70歳以上の人や区役員ら 58名が参加しました。式典の後、祝宴に入り長寿を祝い神楽保存会による獅子舞い、民謡レククラブの皆様による民謡踊りの披露、懐かしい民謡を皆で大合唱、大いに盛り上がり、またbingoゲーム大会では各豪華な賞品が当たるなど、祝賀会を堪能いただき、来年の再会を約束し今年も和やかで楽しい敬老会を開催出来ました。



吉田町人口 (9月1日現在)

男性	7,998名
女性	8,903名
合計	16,901名

75歳以上

男性	923名
女性	1,514名
合計	2,437名

100歳以上

17名



太田区 9月8日(日)

太田の敬老会は90人超の大宴会です。東部中合唱部の若く元気な歌声で始まり、フラダンス、安来節等区民による多くの余興で盛り上がり、食事会を挟んで後半は「みんなで楽しく歌いましょう」で参加者全員の熱唱で楽しく過ごした一日でした。



原町区 9月16日(祝日)

総勢 30名の長寿者の合唱、原町歌姫「和の会」の歌と踊り、「長野マジッククラブ」の手品と腹話術などで、楽しい3時間を過ごしました。



西堀区 9月8日(日)

当区該当者の約半数(23名)が出席。式典の後、育成会の「校歌」合唱、ハーモニカグループの演奏、合同で「故郷」を唱い、最後は区長の「紙芝居」。一階に移動し「宴」を約2時間。楽しい一日でした。



◎ 一童心社 ■ 嶺谷小波 ■ 川崎大治 ■ さとうわきこ

福祉委員会

ーふれあい福祉のつどいー 福祉バザー

令和元年10月19日(土) 東急ライフわいわいドームで開催しました。

今年は台風19号による甚大な被害で、お亡くなりになられた方々に黙禱を捧げ開催いたしました。

又、この災害で被災された方々を支援する為に災害義援金を受けましたところ、多くの皆様から温かいご支援をいただきました。15,279円になり、吉田支所経由で長野市災害義援金基金へ寄付致しました。

各地域福祉会・更生保護女性会・日赤奉仕団や吉田デイサービス様などに、出展参加して頂き、町内外から多くの人々が訪れ、盛況のうちに終了することができました。

最後に、多くの皆様のご支援で毎年バザーが開催できることに感謝申し上げます。

福祉委員会では、ーふれあい福祉のつどいー福祉バザーでこの災害で被災された方々を支援するために義援金を募集し、集まった金額全額を長野市災害義援金に寄付しました。その後長野市長よりお礼の手紙と領収書をいただきました。



第93回吉田町町民大運動会

令和元年10月6日(日) 吉田小学校グラウンドで開催



満水リレー



たる転がし



かけっこ



UFOリレー

優勝	押鐘	第9位	広町
準優勝	東町	第10位	桐原
第3位	小町	第11位	太田
第4位	西堀	第12位	鍋屋
第5位	原町	第13位	上町
第6位	本町	第14位	北本町
第7位	中越	第15位	田町
第8位	横町		

これを機に防災の意識を高めて頂き、いざという時に役に立てる頂ければ幸いです。
総合順位は左記の通りです。

10月6日(日)に第93回吉田町民運動会が行われました。朝の準備の時から小雨がぱらつく中、各町は不安の中テントを立てたり、準備をされていました。競技が始まり、種目も進んで皆様の熱気と共に日が差しこみ、秋晴れの中で全ての競技を無事に終えることが出来ました。今年は防災への意識を高める為に「防災借り物競走」が新たに加わりました。スタート後封筒を拾い中に書かれた町に行き、防災用品を借りてゴール。ゴール後に、防災用品の名前が書かれた紙を読み上げる競技です。

環境美化部会

視察研修 8月29日(木)

長野環境エネルギーセンター、長野市資源再生センター・直富商事を26名で視察しました。(ごみの分別や処理等見学できる施設もあります。)長野市資源再生センターでは、火災が発生しており、ごみ出しは、決められたルールを守って問題が起きないようにご協力をお願いいたします。



消防団長野第8分団

分団長 青木起美雄

7月28日たつみ祭りは雨のため花火教室の開催が危ぶまれましたが、子供達の熱気で雨も上がり大勢の子供達が花火を楽しんでくれました。夏休みの思い出になつたと思います。

又、9月8日には管内の初期用ホース格納箱の点検を住民自治協議会名町区長さん、若槻分署の



花火教室



押鐘区新設

消防団として地域の皆様の安全安心の為、活動してまいります。

職員の皆さん、そして我々8分団で実施し有事の際に困らないよう真剣に取り組み、結果格納箱のなかつた押鐘区に新規に設置することも出来ました。

消防団として地域の皆様の安全安心の為、活動してまいります。

7月28日たつみ祭りは雨のため花火教室の開催が危ぶまれましたが、子供達の熱気で雨も上がり大勢の子供達が花火を楽しんでくれました。夏休みの思い出になつたと思います。

又、9月8日には管内の初期用ホース格納箱の点検を住民自治協議会名町区長さん、若槻分署の

少社会の中、今後の公共施設の在り方をみんなで考えていくればと思います。

公共施設について考える

令和元年11月16日(土)

市公共マネジメント推進課と住民自治協議会共催で「公共施設について考える」吉田地区懇談会を開催し、51名が参加されました。

懇談会では、市から「なぜ公共施設マネジメントに取り組むのか」など説明をいただき、そのあと3グループに分かれ、熱いグループワークが展開されました。この懇談会をきっかけに、人口減



編集後記

